

進路通信

No. 1

< 節目の1年間がスタート >

この1年間は大事!

3年生になり、1週間が過ぎました。新しいクラスにも少しずつ慣れてきたでしょうか。この1年間は、みんなにとって節目となる1年間です。自分で自分の卒業後の進路を決めなくてはならない年です。そして、中にはその進路先が自分の将来の人生を決めることになる人もいます。いま、夢を持っている人は、その通過点として進路先を決めてください。まだ、夢が見つからない人は、いつの日か夢が見つかった時に叶えられるよう、自分にあった学習ができる進路先を選んでください。自信が無くて当たり前です。悩む時期を迎えることもあるでしょう。そんな時には、先生達もみんなの進路先と一緒に真剣に考えていきます。相談しながら共にこの1年間、頑張ってください。



中宮中学校の「顔」として・・・

3年生は中宮中学校をひっぱり手となる学年です!部活動や、生徒会活動、行事で中心となり大きく活躍してくれることを期待しています。



人とつながり、共に学び、共に成長しよう!

授業が始まり、この1週間の学校生活や授業の様子を見てみると、「取り組む姿勢や態度をより良くしよう」と思って過ごしている人がたくさんいるように感じます。あなたは良いスタートを切れていますか?自分と向き合うことが多くなる1年間。「自分は どうしたいのか?」「しなければならないことは何か?」「周りからどう見られているか?」など様々な視点で物事を考えてみてください。

卒業後の進路を踏まえた勉強を進めていく中で、悩んだり迷ったり不安になることもあると思います。その時に、友達が親身になって考えてくれたり、励ましてくれたりする心温まるクラスであればどんなに救われるでしょう。また、みんなが前向きに授業を受ける雰囲気があるからこそ、「自分だけではない」と頑張ることができるのではないのでしょうか。

積極的にクラスに関わり、全員の進路が決まるまで支え合えるステキなクラス、学年を作りましょう!

保護者の方としっかり話し合おう

進路を最終的に決定するのはみなさん自身です。しかし、自分の思いだけで進路を決定することはできません。保護者の方としっかり話し合うということが何よりも大切です。自分の夢や思い、考えがあるのと同じで、保護者の方にも願いや思いがあります。人生の先輩の意見に素直に耳を傾け、自分の考えを深めていってほしいものです。また、進路は経済的なことを抜きにしては考えられません。家庭の中でよく話し合っ、自分自身も保護者も納得できる進路を選択して欲しいと思います。



< 進路通信について >

この進路通信では、様々な進路の情報や体験入学・説明会の案内をお知らせしていきます。体験入学に参加を希望する場合は、電話やインターネットで申し込みをして下さい。なかには中学校を通じて申し込む高等学校もありますので、通信をよく読み、その場合は勝手に申し込まないよう注意してください。実際に高校まで電車を乗り継いで行き、学校を自分の目で見学することは大切です。入試があるので、学力面の準備も必要ですが、校風や設備・クラブ・通学方法なども参考にしましょう。昨年度はコロナ禍の影響により実施回数が例年より少なかったり、オンラインでの参加に変更している場合もありましたが、紹介をしていきますので、興味をもった体験内容があれば、積極的に参加しましょう。百聞は一見にしかず。実際に行ってみることで、自分に合った学校が見つかるかも知れません。

< 必ず保護者の方に届けましょう >

「進路通信」は生徒のみんなが読むのはもちろんですが、必ず、保護者の方にも届けて、目を通していただくようにしてください。体験入学の申し込みだけでなく、「奨学金」・「入学資金貸付」の申請に関する重要な連絡もこの「進路通信」でお知らせします。特に「奨学金」関係は、必要な書類(市役所に行かねばならない書類)を揃えて期限までに申し込みをしなければなりません。保護者から問い合わせがあったときには、すでに申し込みの締め切り後だったということがあります。重要なプリント類が教室の机の中やロッカーの中に入れたままということが無いようにしてください。進路に関してわからないことがあれば、遠慮せずにいつでも担任の先生や進路担当の先生(奥田先生・寺脇先生)に申し出てください。



<進路決定に向けて>

(1)基本的な考え方

- ・個性を尊重し、自己の進路を主体的に考えて選択・決定できるようにします。
- ・単に成績のみで進路先を決めるのではなく、「将来の生き方」や「将来の職業」を考えながら進路先を選択するようにしましょう。
- ・担任との教育相談・進路相談を実施し、保護者の方との三者懇談の上で進路決定を進めていきます。

(2)進路担当…高校との渉外関係、進路事務、就職(奥田先生)・奨学金(寺脇先生・松田先生)

<今年度の進路関係の主な予定>

4月		10月	・進路HR
5月	・保護者集会(11日)	11月	テ第2回実力テスト(4日) テ期末テスト(22,24~25日) ・保護者集会 調第3回進路希望調査 ・受験用個人写真の撮影
6月	調第1回進路希望調査 テ期末テスト(15~17日) ・進路HR	12月	・学期末三者懇談(16,19~22日) 調第4回進路希望調査
7月	・学期末三者懇談(12~15,19日)	1月	テ第3回実力テスト(13日) テ卒業テスト(19~20日) ・私立出願 ・面接練習
8月	テ第1回実力テスト(26日)	2月	・私学入試→私学合格発表 ・公立特別入学者選拔出願(14,15日) ※音楽科(7,8日) ・公立特別入学者選抜入試(学力20日,実技21日) ※音楽科(視唱・専攻実技18日,学力・聴音20日) 調第5回進路希望調査
9月	テチャレンジテスト(6日) テ中間テスト(15~16日) 調第2回進路希望調査	3月	・公立特別入学者選抜合格発表(1日) ・公立一般入学者選拔出願(3,6,7日) ・公立一般入学者選抜入試(10日) ・公立一般入学者選抜合格発表(20日) ・公立二次入学者選拔出願・入試 (実施校のみ23日) ・公立二次入学者選抜合格発表(27日)

<全国学力・学習状況調査>

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の内容

- 教科に関する調査(国語、数学、理科)
 - i 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれるものを原則とする。
 - ii 出題内容は、①身につけておかなければのちの学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等。
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等。
- 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容。

調査結果の公表・提供

- 国全体、各都道府県・指定都市、地域の規模等における調査結果を公表。
- 一人一人の調査結果は、後日個人票を提供。

調査の時間割

	予鈴	調査時間
1.国語	8:40	8:45~9:35(50分間)
2.数学	9:45	9:50~10:40(50分間)
3.理科	10:45	10:50~11:40(50分間)
6.質問紙	質問紙は特活の時間に行います。(20~45分間)	

※4,5時間目は授業です。

持ち物

- HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可、ボールペンは不可)
- 消しゴム

※上記以外のものは調査で使用しないこと。(定規・コンパス・分度器等は使用しません)

